## かわいいの物語

ボンボニエールの魅力は何と言ってもそのかわいらしさ。





## うさぎ置物形

皇太子裕仁親王と久邇宮莨子女王(香潭皇后)は大正13年(1924)1月26日に結婚した。婚儀を1 週間後に控えた1月19日、久邇宮家では良子女王との送別の宴が執り行われた。うさぎ置物形〔図①〕 はその際のボンボニエールである。

良子女王は明治36年(1903)3月6日、久邇宮邦彦王・視子妃の第一女子として誕生した。生年 が卯年であったことから、香淳皇后はうさぎの意匠を終生こよなく愛した。皇后制作のうさぎの置 物も残っている。

## 犬張子形

昭和天皇と香淳皇后は大変仲が良く、夫婦喧嘩をしたことは1回もなかったといわれるほどであ る。お二人の間には4人の内親王が誕生し、結婚10年目の昭和8年(1933)12月23日、第5子にし て初めての男子が誕生した。皇室のみならず、国内の喜びの沸き立ち方は並々ならぬものがあった。 誕生した皇太子の称号は「継宮」、お名前は「明仁」。そしてお印は「縈」となった。「皇太子殿下御誕生」 を寿ぐ宮中祝宴は、翌昭和9年2月23日から4日間にわたり開催された。このうち1日目の招待者 に配られたのが、舞楽兜形ボンボニエールである。舞楽「萬歳楽」 に用いられる鳥兜を模して作ら れた。そして内宴の際に配られたのが、犬張子形ボンボニエール〔図②〕 である。まんまるお目目 にぷくぷくとした体形がなんとも愛らしい、しかも菊の御紋を背負っているという高貴さ。皇太子 の健やかな成長を願ってのボンボニエールである。



第二皇子として昭和10年11月28日に生まれたのが、義宮正仁親王である。正仁親王の誕生内宴 の際に配られたのは、でんでん太鼓のボンボニエール [図③] である。でんでん太鼓は言わずと知 れた赤ちゃんをあやすおもちゃ。胴締めの糸を銀糸で表現し、柄や太鼓面は銀といぶしを組み合わ せるなど、なかなか凝った作りである。開き方も独特で、巴文の部分をくるりと横にすべらせる仕 掛けである。ご兄弟で「おもちゃ」シリーズのボンボニエール、何とも洒落ている。











## IV デザインとお印の物語

皇室の御慶事に際し、相応しいデザインで制作されるボンボニエール。 これは誰がプロデュースしたのだろうか?





#### 皇后さまの思召し

昭和3年(1928)、秩父宮葉仁親王・松平勢津子の結婚に際し、真明皇后は内輪の祝宴を開いて、鼓形ボンボニエールを列席者に贈った。勢津子妃は、 「皇太后さま(貞明皇后)御自らデザインあそばしたもので、胴の部分には宮さまのお印の若松の模様と星の模様が、小さく幾つも浮き彫りにされて おります。皇太后さまのなみなみならぬアイディアとセンスに、つくづく感服せずにはいられません」と記している(秩父宮妃勢津子『銀のボンボ ニエール』講談社 1994年)。

昭和10年(1935)の北白川宮永久王・徳川祥子結婚の際のボンボニエールは永久王のお印「玉(勾玉)」と祥子妃のお印「紅梅」が八稜鏡の上に描か れたもので〔図A〕、古代史マニア垂涎の一品。「玉御模様ハ王殿下御印 紅梅御模様ハ妃殿下ノ御印ニシテ立枠梅ノ御模様ハ妃殿下御五衣ノモノ | 畏いをう大宮様ノ御考案遊バサレシモノナリ」と印刷された紙を伴ってお

り、このボンボニエールも貞明皇后(大宮様)がデザインしたことがわかる。 永久王・祥子妃の結婚後、貞明皇后主催の初晩餐会で贈られたのは貝桶 形流水菊花葵文のボンボニエール[図B]。貝桶は貝合わせ(貝覆い)用の入 れ物である。貝合わせは対となる貝以外とは組み合わせることが出来ない ことから、夫婦和合の象徴となり、婚礼調度の中でも最も重要なものとさ れた。その貝桶に描かれた文様は天皇家を表す菊と祥子妃の実家徳川家を 表す葵。こちらも貞明皇后がデザインしたのであろう。

現在でも宮中晩餐会の献立や飾花については皇后の意向が反映されると 聞く。ボンボニエールにはその細やかなお心遣いが感じられるのである。





①兎置物形〈久邇宮良子女王送別〉大正 13 年 ②大張子形〈継宮明仁親王〈上皇陛下〉誕生内宴〉昭和 9 年 ③でんでん太鼓形〈義宮正仁親王誕生内宴〉昭和 10 年 A.八稜鏡形勾玉に梅樹文〈北白川宮永久王・徳川祥子結婚〉昭和 10 年 B.貝桶形流水菊花葵文〈北白川宮永久王・祥子妃大宮御所初晚餐〉昭和 10 年 C.羽子板形桐桃文〈(北白川宮) 佐和子女王御里開〉 昭和10年 D.丸形相に檜扇菖蒲文(秋篠宮文仁親王・川嶋紀子結婚、平成2年 E.卵形色絵石南花文〈常陸宮華子妃還曆記念〉平成12年 F.香合形色絵柏文〈紀宮清子内現王・黒田慶樹結婚〉平成17年 G.四角形色絵萩文〈(高円宮) 承子女王成年〉平成 18 年 【②③、BCEは個人蔵、ほかは当館蔵】

## お印

ボンボニエールのデザインに欠かせない「お印」。お印とは皇族や華族家の人々などが、記名の代わりとして、身の周りの品につける印章のことである。その昔、高貴な方に仕える人々が、高貴な方の名前を直接口にするのは畏れ多い、ということで出来た慣習という。

皇族の方のお印は誕生や結婚など、皇族となる際に決められる。男性皇族は植物、女性皇族は花であることが多いが、雪や星、また文字という場合もある。お印を用いた様々なデザインをご覧いただきたい  $[図C \sim G]$ 。















# V 歴史の中の物語

皇室の美しい工芸品は近代史の目撃者でもあった。





## 台湾総督府・樺太庁のボンボニエール

台湾は明治28年(1895)日清戦争後の下関条約によって、澎湖諸島とともに清国から割譲され、以降昭和20年(1945)までの半世紀、日本の統治下におかれた。台湾統治のために明治28年6月に台北に設置されたのが台湾総督府である。

その台湾総督府製のボンボニエールがある[図a]。蓋表面に神社の図が描かれ、蓋裏に台湾総督府の紋章が刻印されている。この神社はかつて台北にあった台湾神社と思われる。台湾神社は明治34年に創建された。祭神は北白川宮能が親王と開拓三神。能久親王は、明





治28年に台湾平定のため近衛師団長として出征した。しかし、台湾でマラリアに罹患し、同年10月28日台南にて死去した。皇族で初めての海外 殉職者であったことから、台湾神社創建の際に祭神となった。台湾神社は台湾の総鎮守として、台湾で最も重要な神社とされた。

大正12年(1923)4月12日には皇太子(昭和天皇)が台湾行啓の際に台湾神社へ参拝している。恐らくはその際に制作されたと推測されるボンボニエールである。

樺太庁は明治38年日露戦争後のポーツマス条約の結果、日本領となった北緯50度以南の樺太統治のため、明治40年に設置された行政官庁である。 図bは昭和6年8月の閑院宮戴은親王の樺太・北海道方面視察の際のものと思われる。

#### 李王家のボンボニエール

李王家紋が附されたボンボニエールが数多く残る。王公族として御慶事の際にボンボニエールを制作したと考えられる。日本のボンボニエールは、日本の伝統的な器物の形を模し、職人保護のため伝統的な工芸技術を以て制作され、そして諸外国への広報的役割も担っていた。李王家のボンボニエールもおそらく同じ意図をもって制作さ







れたのだろう。李王家が選択した伝統的な器物の形、それは李朝祭祀の際に祭器として用いられた古代中国の青銅器の器形であった  $[\operatorname{Qc} \sim e]$ 。

李王家紋のボンボニエールには「漢美」「漢城美術」「美」という製造者を表す刻印を伴うものが多い。これは「漢城美術品製作所」、「李王職美術品製作所」を指す。

「漢城美術品製作所」は、1909年大韓帝国時代に設立された美術品の製作所である。1911年からは李王家の直管となり「李王職美術品製作所」と名を改めた。製作所のモットーは「日本で製作する美術工芸品より低廉で、良い材料を使用し、質の良い製品を送り出すこと」。当初は「金工部」「染織部」の2局で開始されたが、その後部署は次第に増え、螺鈿漆器や青磁、粉青沙器など朝鮮伝統工芸品の製作がなされた。

## 戦争の足音

お祝い事の際に作られ、周りの方々と慶びを分かち 合う菓子器、ボンボニエール。昭和の初め頃から兵器 を模ったボンボニエールが登場するようになる。 もっ ともこの形とて、祝事を寿ぐ意匠であったのであるが。









まずは砲弾形〔図f〕。昭和6年10月26日に北白川宮永久王が陸軍砲兵少尉に任官した際のボンボニエールである。昭和6年は、以後15年に及ぶ日中戦争の発端となった満州事変が起こった年である。そのような未来を暗示するかのような砲弾形。形は美しく、永久王のものと思われるイニシャルがアンティーク風にデザインされ、刻印されている。永久王はこの数年後、非業の死を遂げることとなる。

次は、魚雷形のボンボニエール [図g]。朝香宮芷彦王が昭和10年1月28日に成年式を迎えられた際のボンボニエールである。正彦王は昭和9年に海軍兵学校を卒業し、翌年戦艦榛名への乗組を命じられた。こういった経歴から魚雷形のボンボニエールを制作したのであろう。背嚢形 [図h] は昭和9年に澄宮 (三笠宮) 第仁親王が陸軍士官学校予科を卒業されたお祝い。そして、最後は極めつけ、戦車形のボンボニエール [図i] である。昭和8年、朝香宮学彦王が陸軍歩兵少尉に任官された際に作られたものである。

深みに嵌るまで、立ち位置に気が付かないことがある。このボンボニエールを作っていた頃はまだ戦争の悲惨さは遠いものであったのかもしれない。

a.箱形神社図 b.行器形構太庁紋 c.匜形雷文繋 d.錐斗形 e.注口付扁壺形 f.砲弾形 〈北白川宮永久王陸軍砲兵少尉任官祝〉昭和6年 g.魚雷形〈朝香宮正彦王成年式晩餐会〉昭和10年 h.背嚢形〈澄 宮崇仁親王陸軍士官学校予科卒業祝〉昭和9年 i.戦車形〈朝香宮孚彦王陸軍歩兵少尉任官祝〉昭和8年 【abghiは個人蔵、ほかは当館蔵】

